

## 「いいともあいち運動」 SNSにおける効率的な情報発信について

食育消費流通課

「いいともあいち運動」は、愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。また、県民の方々に県産農林水産物をもっと食べていただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

県では、「いいともあいち運動」への理解促進や地産地消の実践を目的として、「いいともあいち運動」 SNS (Facebook、Instagram、X(旧 Twitter)、YouTube) により、県産農林水産物や農林水産業に係る体験等の情報発信を行っています。

より効果的かつ効率的に情報を発信するため、生成AIツール等を活用した取組を行ったので、概要を紹介します。

### 1 SNS運用における課題

SNSを効果的に運用するためには、フォロワー数を増やして多くの人に情報が共有できるよう、定期的かつ魅力的な投稿が必要です。記事の作成には時間を要するほか、担当者が変わる度に記事の読みやすさや投稿頻度が変わり、情報の質の不安定さから受け取る側の継続的な閲覧につながりにくいという課題がありました。

### 2 取組内容及び結果

SNS記事作成の効率化を図るため、2024年度に生成AIツール (GaiXer) の活用を開始しました。イベントや店舗に関する情報源、文章量、文章の体裁等に関する指示内容のテンプレートを作成し、作成したい情報を生成AIに入力することで、記事を作成する仕組みを構築しました。

さらに、記事作成のポイントをまとめたSNS運用マニュアルを作成することで情報の均一化を図りました。また、記事の内容を反映した、投稿に最適な画像へと簡易に編集できるよう、PowerPointでひな型を作成しました。

これらの取組の結果、記事作成の作業時間が20分/件から10分/件に短縮することができました。また、Instagramでは、フォロワー数は対前年比158%、延べリーチ数は同186%となり、Xでは、フォロワー数は同136%、延べリーチ数は同145%となり、より多くの人に情報を届けることができました。

### 3 今後の展開

今後は、いいともあいちネットワークを活用し、関係団体等のSNSの投稿を互いに情報共有 (リポスト等) するなどにより、連携を強化して、より効果的・効率的な情報発信に努めていきたいと思えます。

「いいともあいち運動」 SNS アカウント名 

 Facebook : いいともあいち運動

 Instagram : @iitomoaichiundo

 X(旧 Twitter) : @iitomoaichiundo